

令和5年度“「長久手市役所の仕事」通知表”の作成 ～長久手市行政評価・外部評価～

公共交通事業

市長公室 企画政策課

まちづくり、まずは笑顔でこんにちは

長久手市はあいさつ運動に取り組んでいます

1 事業概要

◆事業名

公共交通事業

◆事業の開始の背景、経緯等

平成17年3月にリニモが開業し、東西の公共交通の基盤軸が形成された。

リニモ、名鉄バス及びN-バスが一体となった利便性の高い公共交通サービスの提供が求められている。

2 事業の実施体制

◆組織体制、人員

課長、課長補佐兼係長、主事2名（主担当、副担当）

3 事業の目的①

◆事業のゴール（市としてどうなるのか）

最終アウトカム

過度に自動車に頼る状態から、多様な交通手段を利用する暮らしへの転換を促すため、公共交通の利用を促進し、また、持続可能な交通体系を構築する。

3 事業の目的②

◆事業対象（誰、何を対象にしているか）

市民、公共交通利用者及び公共交通事業者

◆対象者がどうなることを目指すか

中間アウトカム

徒歩や自転車で行けない離れた所に外出する際に「公共交通利用を第一に考える」人の割合の向上を図る。

3 事業の目的③

◆事業を構成する事務事業

| | 事務事業名 |
|---|----------------|
| ① | 公共交通ネットワーク構築事業 |
| ② | |
| ③ | |

◆どんな活動を行うのか

地域公共交通会議の運営や公共交通に関する市民アンケートの実施、公共交通応援隊による啓発活動などを行う。

4 成果指標

◆成果指標（対象者の変化をはかることができる指標）

徒歩や自転車で行けない離れた所に外出する際に「公共交通利用を第一に考える」人の割合

◆指標の設定根拠

公共交通利用に対する市民意識の高まりを確認するため。

◆成果推移と成果目標

（単位：％）

| R 2年度 実績 | R 3年度 実績 | R 4年度 実績 | R 9年度 | R 14年度 |
|-------------|-------------|-------------|-------|--------|
| — | — | 26.9 | 30.0 | 33.0 |

5 事業のふりかえり

◆事業開始からの主要なエピソード

現計画となる「第2次長久手市地域公共交通網形成計画」の推進のため、地域公共交通会議や公共交通ネットワーク調査研究会の開催、公共交通応援隊による活動などを実施している。

◆令和4年度の活動エピソード

令和5年度に策定を予定している地域公共交通計画の参考とするため、公共交通に関する市民アンケートを実施し、1,547件の回答を得た。また、N-バスの啓発として市役所庁舎内でカプセルトイを設置し162個を販売した。

6 課題分析①

◆目標達成状況（進捗状況は順調か）

令和9年度を目標①とし令和4年度実績を基準値としたため、現状では進捗状況を把握できない。

◆目標達成のために対処が必要な要因

改善ポイント

市東部のN-バスの利用実績が少ないことから、新たな公共交通システムの導入の検討が必要である。また、令和2年3月からの新型コロナウイルス感染症の影響により、各公共交通の利用者数は減少しており、当初の目標達成が困難な状況であるため、次期計画策定の中で目標人数の設定を見直していく。

6 課題分析②-1

◆事務事業①の方向性

| | 事務事業名 | 事業の方向性 | コストの方向性 |
|---|----------------|---|---|
| ① | 公共交通ネットワーク構築事業 |  |  |

◆中長期の計画（改善ポイント 踏まえ具体的に記入）

市東部のN-バスの利用実績が少ないことから、新たな交通システムの導入など、公共交通ネットワーク改善を検討する必要がある。また、公共交通網が充実する市西部では、利用促進の強化を重点的に取り組む必要がある。

7 おわりに

◆外部評価実施者に助言をもらいたいことなど

現在の本市の公共交通について、日頃利用する中で感じたことや改善ポイントがあればご教示ください。